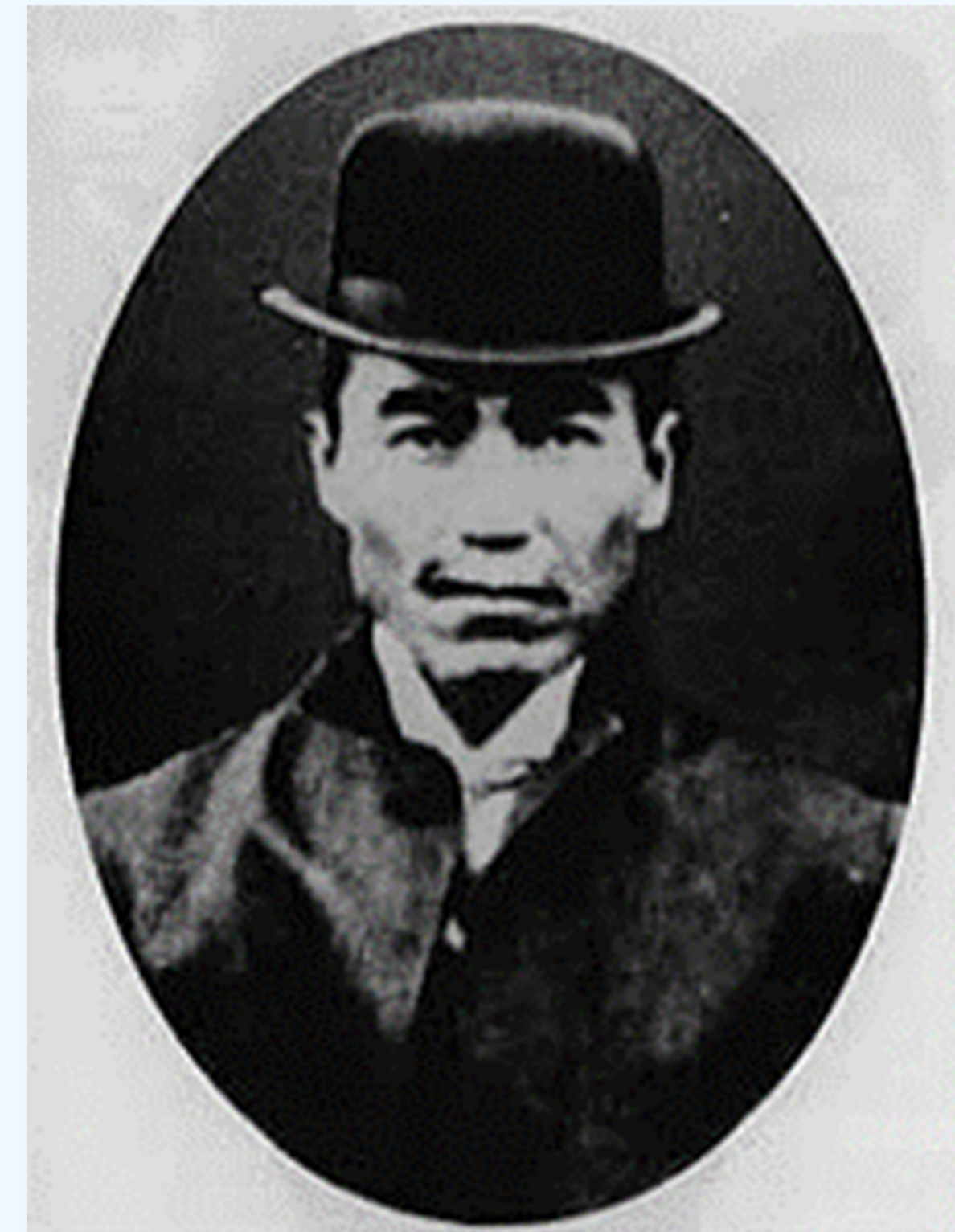


- 昔の石狩川は、曲がりくねって流れていた。
- そのため、水が流れるのがおそく、たくさんの雨が降ると川の水があふれて、水害を引き起こすという問題をかかえていた。

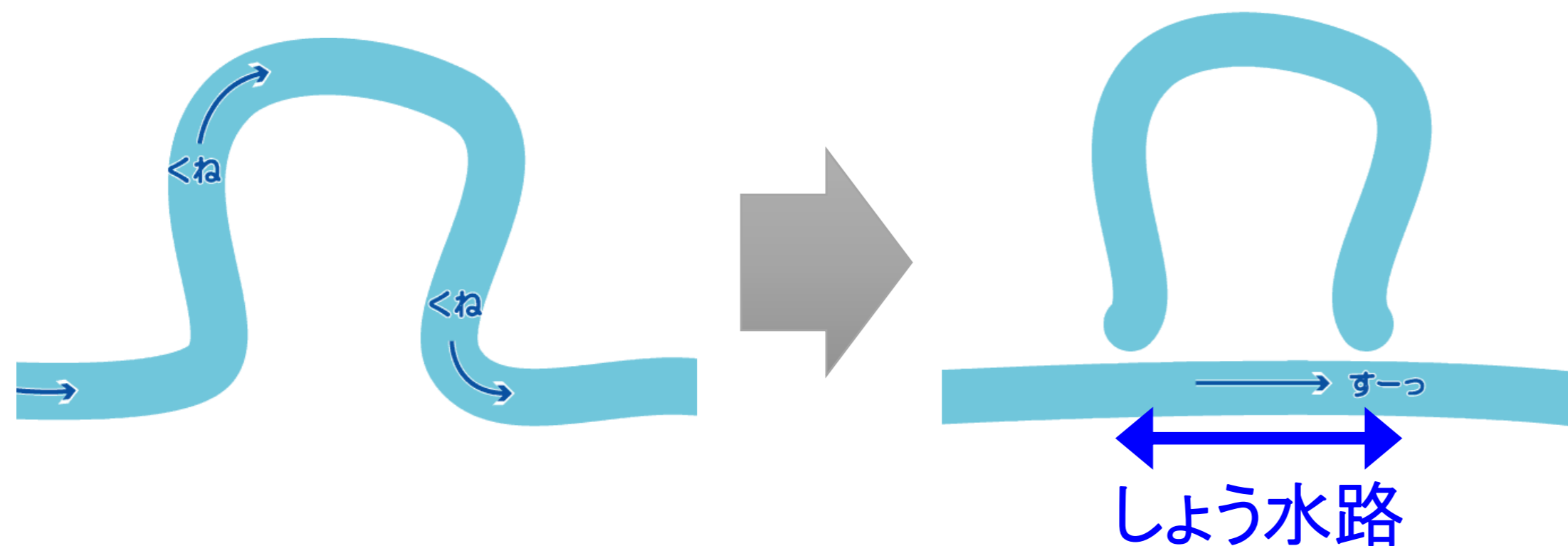


- 曲がりくねった石狩川の一部をまっすぐに結んで水をはやく流す「しょう水路工事」が大正7年より生振地区で実施され、その後、次々と工事が行われた。

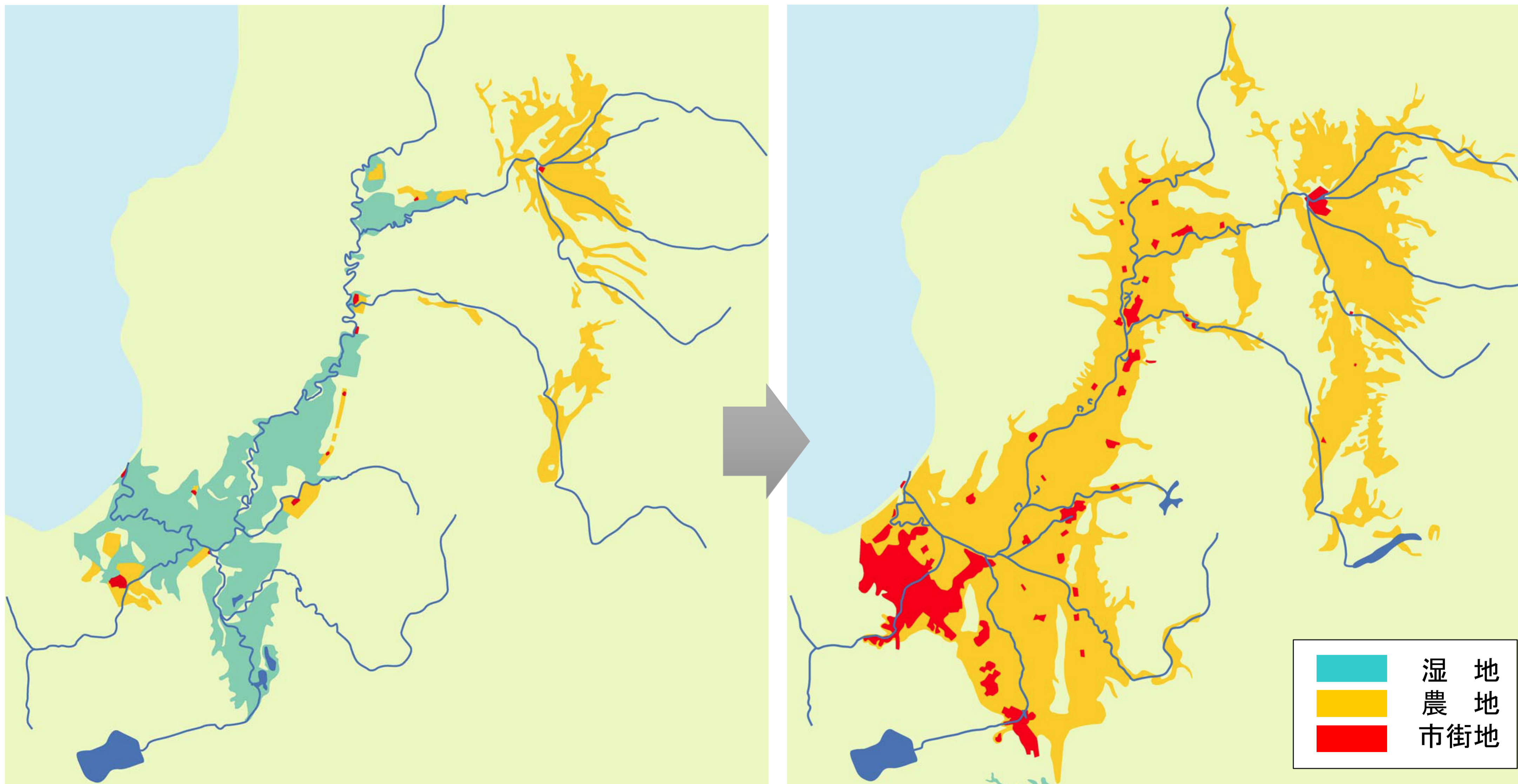


岡崎文吉博士

石狩川の水害を防ぐための
取り組みの基礎をつくった。



- このような取り組みにより、石狩川による水害を減らすことができた。
- 水害が多くて人が住めなかった広大な土地を、農地や市街地にすることができた。



明治30年

平成12年